

白岡ニュータウン自治会だより

挨拶と花と緑の
明るいニュータウン

新春号

平成18年1月15日

白岡ニュータウン自治会発行
会長 森田 貴美子



《新年挨拶》 明けまして おめでとうございます

自治会長 森田 貴美子

年の始めにあたり、会員皆様のご健康ご多幸と、白岡ニュータウン自治会1200戸の、さらなる結束と発展を心より祈念しています。

いつもの事ながら、賀状に勢いよく躍る「新年」「新春」の響きは心地よいものです。よいことばかりではなかった旧年から解放され、今日まで何十回も繰り返した「今年こそ！」の意気込みを、「さあ、もう一度がんばってごらん」と受け止めてくれそうな、期待と抱擁力を新年に感じているのかもしれない。

この地の新しい可能性を信じて移り住んできた頃を思い起こし、また懲りずに、「今年こそは！」と念じて、この1年に真正面から向きあっていきたいと思います。

長い間空き区画が広がっていた1丁目に、90戸を超える新会員の皆さんを迎え、1丁目会員数は一挙に180戸近くなりました。さらに、全地域で異動による会員の入れ替わり例が多かったことも印象的です。新会員の皆さんには、機会ある毎に会員同士の交流を通じて早く当地に親しまれ、自治会活動への関心を深めて、持てる新しい力を大いに発揮して下さるように期待しています。

写真

さて昨秋、長岡市役所危機管理課を訪れ、中越地震の状況を直接お聞きできる機会がありました。

- ①激震による大きな被害は強烈な記憶として残っていますが、その前後の深刻な水害や、さらに冬季の積雪なども重なり、いまだにブルーシートで覆われた屋根、1車線通行を余儀なくされている高速道路、残る仮設住宅群などに復旧の遅れがうかがえます。
- ②また、『日頃から妻が備えていた非常持ち出し品のおかげで、停電の悪条件下でも即座に身支度を整え、役所に駆けつけて災害対策にあたることができた』との体験談から、「危機管理とは、知識のみではなく、小さな基本の実践の積み重ねである」と実感しました。
- ③さらに、『行政支援が広範囲を瞬時にカバーできない時、《地域の事は、地域が！》という《初動意識》が問われる』ことを心にとめ、今後も《掛け捨て覚悟の地域の保険》としての「ニュータウン自主防災会」の充実を図っていきたいと考えています。

去年は、幼児・こどもの安全確保のため、町中を腕章、ステッカー装備のパトロールが巡回し、警戒を呼びかけるアナウンスが繰り返し響く異常な事態となりました。穏やかな風土、温厚な人柄の土地で、子どもたちが出会う人に不審者の疑いを持たなくてはならないのが残念です。学校・保護者の真剣な取り組みと並行して、地域の果たす役目も問われ、各地ではさまざま取り組みが展開されています。

登下校時や、公園遊びの児童生徒の姿を見るたびに、安全を願って見守る地域の輪が広がり、さらに、この地ならではの協力・工夫も登場するように願っています。

不審者への隙のない目配りは、地域全体に「安全・安心」の恩恵をもたらすはずで

☆自治会活動支援ボランティアの皆さんへ☆

時間も工夫も余裕の無い切羽詰った局面で、多くの助け舟を漕ぎ出してくださった皆さん！ありがとうございました。

- ☆力仕事の伴う盆踊り／青空市運営のベテラン
- ☆輪の中でのこやかに踊り続けてくれた方達
- ☆ポスター描き参加の子ども達
- ☆甘酒作りの名人
- ☆お楽しみ「リース作り」指導
- ☆毎月のパトロール参加
- ☆防災訓練への協力
- ☆2 Ch 画面の緊急入力
- ☆パソコン支援に、写真撮影
- ☆各種専門検討委員会への参加／提案 などなど、



有志による街角の除草、落ち葉清掃も少しずつ浸透し、1歩1歩ではありますが、自分達の街への愛着が実践的活動となった昨年でした。

防災Q&A

Q1：ニュータウン住民の避難場所はどこでしょうか。地区により場所は決められているのでしょうか。

A：町内19個所の指定避難場所中、ニュータウン近くには、白岡東小学校、勤労者体育センター、高岩公園、白岡高等学校、老人福祉センターの5個所があります。これで不足した場合には、支援避難場所として2丁目、3丁目集会所の利用も予定されています。地区による指定・限定はありません。

Q2：防災倉庫とは？ どこにあるのでしょうか。

A：各自治体が主に地震災害に備えて、食料等を保管している倉庫が防災倉庫です。白岡東小学校、勤労者体育センター(駐車場脇)の2ヶ所にあります。管理は白岡町役場庶務課が行っています。倉庫内には災害時に使用する資機材、毛布、飲料水、アルファ米、カンパン、仮設トイレ、救急医療器具・薬等が入っています。この周辺には町の設置したもの以外はありません。

Q3：台風等による水害の可能性はないのか。

A：昭和22年のカスリーン台風では利根川の堤防が決壊し、白岡町近辺でも1メートル近く冠水しましたが、その後はそのような例はありません。昨年は、元荒川の水位が上昇し、白岡西地区で避難場所の開設準備をしましたが、近年設置された排水ポンプの効果により、無事でした。ニュータウン周辺には、用水路や小規模河川がありますが、調整池もあることから水害の可能性は低いと思います。ハザードマップ(被害想定図)作成を要請しています。

Q4：緊急時の連絡はどうすれば良いのか。

A：自治会でも各班で緊急連絡先の管理を行うよう推奨していますが、NTTの緊急伝言番号(171)やドコモ・auの災害伝言サービスを活用してください。(NTT等ではいざという時のために練習出来るようになっています。)

Q5：避難袋は近くに持っていたほうが良いのか。何を入れれば良いのか。

A：貴重品以外は枕元や玄関付近に置くよりは、いざという時に出しやすい自動車のトランクや外物置に置くほうが良いと思います。簡易食料、水、非常用給水袋、救急セット、手回し式発電ラジオライト、ローソク、緊急防寒ブランケット、軍手、透明ゴミ袋、布粘着テープ、マスク、ホイッスル、綿タオル、ライターがあれば充分でしょう。食料・水は3日分程度あれば良いと思います。ブルーシート、簡易バケツ、ロープ、レインコートなどもあれば便利です。のこぎり等の工具も出来れば外物置に置いた方がいざという時役に立ちます。

自治会だより Q&A

Q1 : 年寄りがいる家の緊急避難場所は老人福祉センターにして欲しい

A1 : 家族としての決め事として対応してください。仮に決めていた避難場所が崩壊していたときには、次のところへと家族で打ち合わせを行い、その時の状況判断で対応することになります。

Q2 : 植木害虫駆除はもっと丁寧にして欲しい。見ていないと大雑把

A2 : ①今回も事務局に数件の苦情連絡があり、実施業者である白岡総合園芸に快く対応をしてもらっております。

②「生垣・庭木害虫駆除の実施の案内」および「生垣・庭木害虫駆除の完了届」に、白岡総合園芸の電話番号を記載いたしましたが、直接状況を申出てくださいと思います。その上で「事務局」へも御一報をお願いします。

Q3 : 緑道の植木は、気が付いた人が個人で剪定してよいのか？

A3 : 小規模なものは気が付いた時点で個人で剪定していただいて結構です。
特に防犯灯の照度を妨げ、道幅を狭くしている枝の剪定に協力ください。

Q4 : 【ゴミゼロ運動】について①どうして直前にシルバーに依頼して緑道の草取りを行うのか？ ②当日配布のポリ袋もっと大きく強いものにすべき

A4 : ①極力、直前を避けるよう調整していますが、シルバー側の都合もあります。
(今秋は3週間前)草取り以外の、メインであるクリーン化に努力下さい。

②当日配布のポリ袋の大きさは一種類しかありません。あまり大きくと重くなって持運び・処分に支障が出るためです。枚数に制限がありませんので、どンドン袋の要請を衛生部班長さんにしてください。

また今回、古い袋を配布した中に「ポリ袋の劣化」による弱いものがあつたようです。次回からはあまり古い袋の配布を控えます。

Q5 : 資源ごみの不法持ち去りが一向に改善されていない。注意するとその場は謝るが、すぐ場所を移動して持ち去る。確実な対策を望む

A5 : ①ごみの所管は「白岡町および蓮田市白岡町衛生組合」です。

②ニュータウン内の行政区長・環境衛生委員は、「白岡町および蓮田市白岡町衛生組合」に「法令化による取締り」を要望しており、検討しているようですが、予算面・経費面・市町村合併の否決等で「法令化」には時間がかかるようです。

③「回収資源・持ち去り禁止プラカード」の掲示継続や行政へのアクションを継続していきたいと思っております。

《H17年青空市自治会事業部最後の行事を終えて》

事業部・津末忠美

今年度より自治会事業部では、盆踊り大会・ふれあい音楽祭・青空市と3大行事を開催するという役目を頂きました。最後のイベントである青空市前日12月3日(土)は、天気恵まれ役員・班長・ボランティアの皆様の協力により、準備・餅つき練習を無事終えることができました。当日12月4日(日)は、天気予報通り朝から雨を気にしながら、下記の行事を開催しました。

【3丁目サウスプラザにおいて】

- ・餅つき実演・販売
- ・産地直送りんご販売
- ・甘酒サービス
- ・クリスマスリース
- ・フリーマーケット



【2丁目センタープラザにおいて】

- ・ 趣味の作品展示会（絵画・書道・盆栽など）
- ・ 手作り作品展示・販売

青空市は天候不良のため午前中のみで開催でしたが、りんご・もちの販売と甘酒サービスは早々と完了しました。また、当日は事故やトラブルもなく、無事終了しました。最後になりましたが、役員・班長・ボランティアの皆様には多大なご協力を頂きましたことをここに厚くお礼申し上げます。



《高岩浄水場を訪問して》

私達の毎日の生活に欠かす事のできない水。今回は、いつもニュータウンの家庭に安全な水を届け続けている高岩浄水場を訪ね、浄水場内にある水道課の高橋水道課長、神田庶務係長のお二人にお話を伺いました。

(高岩浄水場が建てられた経緯)

- 昭和 33 年 白岡町の水道事業が簡易水道事業の認可を得て創設
- 昭和 34 年 白岡浄水場から小久喜・白岡・千駄野・篠津の一部に給水を開始(当時の給水戸数は 593 戸)
- 昭和 46 年 町内全域に給水するため岡泉浄水場を建設、昭和 48 年から給水開始
- 昭和 54 年 高岩浄水場が行田浄水場からの県営水道受水施設として建設され、昭和 57 年から供給開始
- 平成元年 高岩浄水場に深井戸 2 井、浄水施設、排水施設等を建設し、平成 3 年から井戸水と県営水道(以下、県水)の混合によって供給開始
第 6 次拡張事業により岡泉浄水場に新たに県水受水施設を整備
- 平成 12 年 白岡浄水場は老朽化のため用途を廃止し、白岡浄水場系の水源を岡泉・高岩浄水場に代替えた



(近代的な設備で管理されています)

(高岩地区が選ばれた理由)

宮代町から流れて来る県水に近く、供給にも好都合な場所であったため、新白岡の開発業者が買った土地を町が買い取って建設した。

(高岩浄水場の人員構成)

町の職員 10 名、民間の委託会社社員 3~4 名。夜間も委託会社の社員 1 名が、漏水等の対処に当たっている。

(施設の概要)

浄水場内外には、取水井 (4 本) があり、取水ポンプで汲み上げられた井戸水は、着水井、接触池の順に塩素滅菌され、さらにポンプで急速ろ過機に送られて、配水池 (5000 トン×2 本) で行田浄水場から送られてくる県水に混合されている。配水池の中では、県水と地元の井戸水 (滅菌・ろ過済み) が混合され(県水が 8 割)、常時水量は、70~80%に保ちつつ、配水ポンプ (5 台) で絶え間なく町内各家庭や学校等に給水している。

※ 現在、高岩浄水場は、1 日当たり 14,800 m³ (県水 12,750 m³、井戸水 2,050 m³) の配給力があり、岡泉浄水場と合わせると、給水人口 50,000 人、一日当たり 21,200 m³の配給に対応できる町の施設となっている。

将来的には、岡泉浄水場は無人化され、高岩浄水場で全ての浄水作業が操作される予定となっている。

(地震等災害時の給水対応について)

白岡町の地域防災計画に従い、日本水道協会で定められた埼玉東部ブロックの一員として春日部、杉戸、久喜、菖蒲、羽生等東武沿線地域との連携が結ばれている。

- 地震時 震度5強で2基の配水池のうち1基を遮断(非常用の水を確保するため)。震度7で双方の配水池は使用不能になる。1基でおよそ5日間、住民への供給が可能
- 火災発生時 送水ポンプの圧力を上げ、水の勢いを強化する。
- 停電時 直ちに運転を自動から手動に切り替える。

※一旦送水を停止すると水垢がたまり易くなり、再び圧をかけた時に水質が落ちてしまうので、落雷時は各設備が正常に機能しているか確認作業を行うため大変だそうです。

(飲み水の安全性について)

県水を含む全ての水は取水後は地中を通り、クローズされた形で各家庭の蛇口、マンションのタンク入り口まで運ばれるので、異物が混入することはない。

○水質検査

毎日、色度濁度、p h、残留塩素(1日に2回)検査を行う。年に1度は、50項目に及ぶ徹底した検査を行う。

※ 県水、井戸水とも同様に行われ、特に井戸水については有害物質が検出された時点で直ちに取水は停止となるそうです。



(2棟の貯水池)

<飲み水をより安全に、美味しくするためには?>

- *朝一番の水は蛇口付近に残っている滅菌剤の次亜塩素酸ナトリウムを流すためしばらくの間放水する。
- *沸かして飲む。
- *時間を置くと衛生上好ましくないので氷用の水などは長い間放置しない。

『寒い時期に向けて“水道管も暖かく!”』

町水道課から水道管の凍結や破裂防止策や対処のしかたが紹介されています。

12月の白岡町広報、20ページをご参照ください。

<感想>

大きな円柱状の配水池がそびえ立つ広い浄水場に一步踏み入ると、場内はとても静かでしたが、建物の中では、安全な飲み水のための厳しい水質管理が一時も休まずに行われていました。

今回の取材で、毎日使っている水道水の様々なことならについて、殊に利根川から引いた県水に白岡の井戸水が加わることで美味しくなると知り、郷土の自然を大切にすることは家庭の蛇口に繋がっているのだと思いました。

広報部/坂本

編集後記

平成17年度広報部のメンバー全員からコメント

何もわからず、不安だらけのスタートでしたが、皆様に助けられ色々な体験をするうち「ニュータウン住民」としての意識も深まり、また自治会だよりも今までとは違う角度から楽しむようになりました。ありがとうございました。(宮崎 陽子)

この一年を振り返り、楽しく広報活動をさせていただいたことに感謝するとともに、私個人としては、ひとつの取材を通して、地域の役割、結びつき等改めて考えさせられた貴重な一年であった様に思います。(小野寺 晴美)

右半身麻痺になり、妻に代わりましたがお役に立てず大変ご迷惑をおかけしました。部長以下部員の皆様の暖かいご配慮を感謝しています。(荻野 修)

「自治会だより」「2チャンネル放送」等を維持してきた担当者の方々のご尽力を知り、心して見るようになりました。また、次の世代に愛着ある町を引き継ぐため、各種行事を通じて共同作業の重要性を痛感致しました。(鈴木 誠次)

今年度も広報部の良きメンバーに恵まれて、全員の協力が無事に新春号を発行することが出来て、ほっとしています。来年度の班長さん広報部は結構面白いですよ！(菊地 忠晴)

班長になるまで自治会活動に参加する機会が殆どなく(ゴメンナサイ!)、貴重な体験をさせていただきました。来年度以降もできる範囲でお手伝いをさせていただきたいと思います。ありがとうございました。(山田 智)

広報部の活動を通じて、自治会や地域の事にいつもより深くふれられて有意義な一年でした。(坂本 光恵)

この8ヶ月、2チャンネルのニュース入力を通して、NT自治会では各種事業を活発に実施している事をあらためて認識した次第です。自治会活動を知り、より住み易く、安全な、子供を守る町創りができればと願っています。(中田 一義)

あっという間の一年間でした。自治会だより作成に当たっては、部長・副部長に頼りっぱなしで申し訳ない程です。けれども皆さんがとても暖かく気持ちよく過ごせました。本当にありがとうございました。(橘 善子)

広報部理事さんの強力なリーダーシップのもと、優秀なメンバーの方々と一緒にできて本当にラッキーでした。(宇治田 忠昭)

一年間があっという間に過ぎました。色々大変でしたが、今までとは違う経験が出来て良かったと思います。来年も頑張りますのでよろしくお願いします。(田路 政彦)

